

児童書 ご担当者様

子どもたちが社会や人々とのつながりを考えるきっかけになる本

「はたらく」ってこと

「つながる」ってこと

「生きていく」ってこと

「ぼくのとうさん」は、清掃車でしごとをしています。それを友人に“ゴミや”とバカにされてしまいます。「わたしのおかあちゃん」は、居酒屋で働きながら、二人の子どもを育てています。

さくら文葉 作

ぼくのとうさん
わたしのおかあちゃん

発行: フロネーシス桜蔭社
発売: メディアパル
定価: 本体1,200円(税別)

ぼくのとうさんは、
市の清掃のしごとをしています。
春風の日も雪の日も、
カラスにつつかれてちらばったゴミも、
残さず集めます。

親のしごとをモチーフに、実際の子どもの詩に着想を得てうまれた物語を2作品収録。

2020年度から学習指導要領が「生きる力を明日に、そしてその先の人生につないでいく」という社会との繋がりを重視したものに改訂されました。

この作品も、働くことの意義や尊さを通して、子どもたちが「未来の自分」や「社会の一員としての自分」、人々とのつながりについて、考えるきっかけになる1冊です。

(対象読者 小学3・4年生から)

メディアパル

東京都新宿区東五軒町6-24
TEL. 03 (5261) 1171

ご注文用
FAX番号

03 (3235) 4645

注文

注文数

発行: フロネーシス桜蔭社/ 発売: メディアパル

書籍 A5判・上製・72頁

#3198

ぼくのとうさん わたしのおかあちゃん

さくら文葉/著

貴店名

様

冊

ISBN978-4-8021-3198-8 C8093 定価: 本体1,200円+税